

七五九

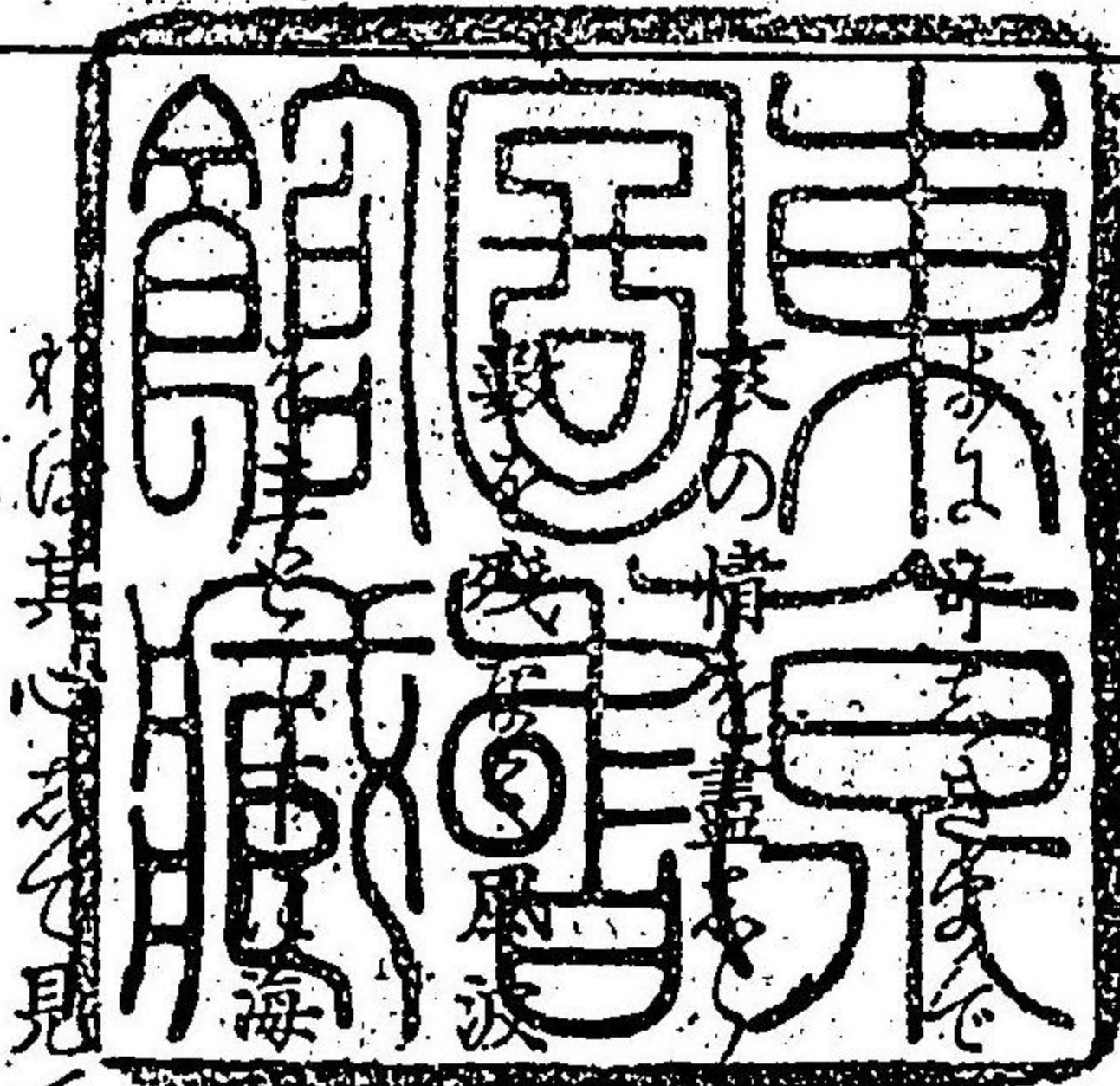
153  
739

小田清雄校正備註

校正  
傍註  
土佐日記

大阪 國文館

一 此記世の數本のうちの中より秀吟法印の抄本優れり、されど行字脱文



此は其心志を以て見ゆ

一 土佐日記は既<sup>ハナ</sup>く先哲を以て如く紀氏校の國の任解ける歸洛の時  
に臨みて鍾愛の女子を失ひ、其歎は堪へぬとて、ひ  
ろく書也船中歸路乃<sup>ハナ</sup>きまをのりて大やう記さんをもさる物あら、  
願わむは只おれぬのみ、筆を立てぬを、悲



此也また賊船の爲に襲され漂ひてをある日  
のうらみは書流せり、されば此書の大むは亡兒の悲  
賊の恐ろしみ是をのりむるも全文俳諧をもてした

なを河れば妙壽院本抄に引寛永本扶桑拾葉集本水戸西群書類従本

補綴あををて補正を門そのよしうのどころを

一 此記發端の文は「やとてゆゑ」てまとのふ日記とひあゆめを、をん

なゆゑてあつろみんとてするまの「乃ゆゑ」て下れ四字脱ちしな

りとひふ橋守部氏の説よろしはゆゑを今は本乃ゆゑ

一 おれ傍註を大阪文榮堂主人よりつとくられて物せしあり其乃ゆゑ

ゆゑつとくられて漢字を填てられを然はしゆゑきは俚語と譯解を

つとくりゆゑとはどころせくて國文全書に収めたる予ゆ補註の考證を

た列よ物せを講義を見て知るべし

一 原本をよむる句讀点も濁点をあし、おれをよむるは初學の人々讀むよ  
便にうくまふ、文義を誤るあつあるべければ今物あり、は讀あり

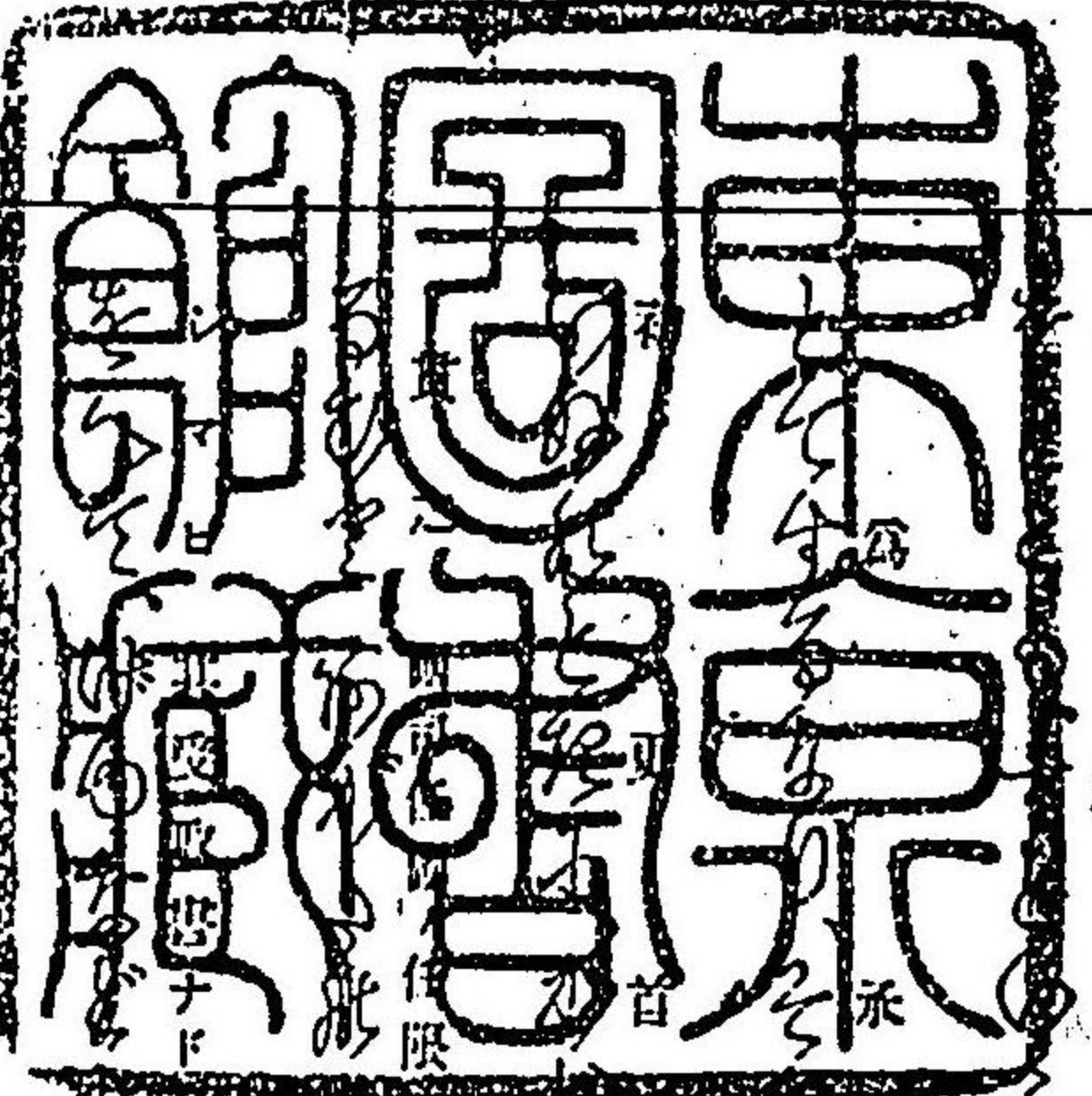
りは句なり句讀のこと予が畏友故權田直助の國文句讀考  
といふ書ありいとよきものなり必見られよ

明治二十四年秋季皇靈祭日 紀氏が和泉國を海上平安よを神佛よ

立願せし、それ國の塚の市人小田乃をゆを、あゆむ

校正 土佐日記

小田清雄 校註



○わかれ  
原作わか  
たれ今依  
寛永本扶

男 為  
 日記のあゆみを、女 為 武  
承平四年 十二月 二十日  
途 為 船中歸路ノ事ヲ カリソメニ草稿 記 ッケル 記  
四年ヲ勤メ 五年ニ其任 後任ノ國司ハ諸帳面ノ引渡ナド 昔レテ  
ナド ケトリテ 止 留 出 船 乗 地  
此 知人不知人送 為在 任 中 親レク 君使  
別 難  
 たる人々あん、わあねめ、く思ひを、調度ヤウノ物或ハ船ニ積ミ遊ビ且離テナドトリドリニマカ  
 たる人々あん、わあねめ、く思ひを、あまのるべきと

桑拾葉集  
本群書類  
従本等改

○かみな  
かしも原  
作かみし  
なか今依  
妙壽本及  
寛扶群四  
本改

○原本は  
びせ下衍  
び字今依  
妙寛扶群  
四本削

ナヒサワツ  
しむらふ、夜あけぬ。

廿二日、和泉國造、たひつた、ねむひつ、みぢりなれ

言とまをね、度船路、うまはせあむけは、馬鼻向、かまをかまを、鼻為上、むひあ

さく、甚奇、あほうみはるとりた、湖海邊、あさむあひら、観二候子集

廿三日、八木鹿教、こはひと、此人、カリソメノ課役ナドニカ

ナラス召出テ使、人、

あはせ、此人、體正、狀、此、別為、國守故

あはせ、國人の、モウカマフコハナイト、不、來、心

あはせ、此、附物、物、小、器

あはせ

廿四日、因分寺講師、うまはせあむけ、為、來、臨、在、上、下

あはせ、備、師、醉、痴、文字、知、者、其、足

十、文字、踏、遊

廿五日、新國守、詔、詔、書簡持、來

あはせ、招、到、終、日終、夜、住別ノ詔ナレハ容心チモオス打解サ、メキテ夜

明  
けあけり。

廿六日、ヤハッ、在、變、為、取、呼、下、男

あはせ、引出物與、詩、聲、明、歌

○たちに  
下原有て  
字今依寛  
扶群三本  
削

新任ノ守 其 之 他、 廣上ヤ 詩 此日記  
 へあるに、まういづれを、あま 人 せんりあふん、いづいづれ、あはれ  
 不記歌 守 作  
 ねえわくぞ、やあといふ、あるに、かみのよをさす。  
 都 出 君 逢 来 別  
 みやうらぞ、まみれあふるとあゝのぞ、こゝかひもまわ  
 られぬるかな、とあんありけねだ、いへるまの可みはよをさる。  
 白 栲 波 路 遠 ニキカハリ来テ、 外ノ人  
 ちろいふら、なみぢをともむもあひて、わはれあふんりふれ  
 ナラズ君ニコソアレ他、 歌 勝レタル歌無  
 なるあふれ、おと人々のを、あまけねど、さかへもあかるとい。と  
 カク様々ノ事云 之 今 守 相 俱 階下  
 かくあひて、まはれかみ、いあのを、もうともあひて、いあはる  
 前 主 手取 交 酒 興 快 祝言  
 へ、まはれは、まのあひて、あひことお、あうらよなをさるると  
 出 出

廿七日、おちりより、うらとを、まはれ、いづいづれ、京  
 大 津 浦 戸 指定 禮 出 歸京ノ用意爲  
 生 女 子 土佐 僕 死  
 けさうあはれ、せんあぶ、くあて、まわあう勢のさあ、あはれ  
 旗マチノ支 鹿  
 ろのいづれ、いづれ、あまおのいづれ、京ノ可さるよ、  
 せんあぶのあまはまぞ、いづれ、あま、他、 甚 中間  
 事ヲ起ス語ナリ下同シ 記 出  
 のあひだよ、ある人のあはれ、いづれ、いづれ、  
 ナニトナク 悲  
 みやあふんぞ、ねあまを、いづれ、いづれ、いづれ、いづれ、  
 取 取  
 なまけり、また、あるとはあは  
 存 記  
 あるあはれ、あはれ、いづれ、いづれ、いづれ、いづれ、  
 ナハハリ亡 兒 フロコニ  
 鹿兒 崎  
 いらひる、いづれ、いづれ、いづれ、いづれ、いづれ、  
 新任ノ守 兄







訪 来 *あまのつひ*

六日 あまのつひ *あまのつひ*

七日 あまのつひ *あまのつひ* 同 *あまのつひ* 淺 *あまのつひ* 在 *あまのつひ* 青馬、苗 *あまのつひ* 想 *あまのつひ*

ど 最 *あまのつひ* 證 *あまのつひ* 被 *あまのつひ* 白 *あまのつひ* 見 *あまのつひ* ナド口合云ウチ *あまのつひ*

ひと 此 *あまのつひ* 池 *あまのつひ* 名 *あまのつひ* 入 *あまのつひ* 鯉 *あまのつひ* 野 *あまのつひ*

ト 河 *あまのつひ* 魚 *あまのつひ* 海 *あまのつひ* 外、物 *あまのつひ* 長 *あまのつひ* 原 *あまのつひ* 荷 *あまのつひ* 連 *あまのつひ*

乃 遣 *あまのつひ* 若 *あまのつひ* 菜 *あまのつひ* 入 *あまのつひ* 雄 *あまのつひ* 子 *あまのつひ* 花 *あまのつひ* 若 *あまのつひ*

な 菜 *あまのつひ* 今日 *あまのつひ* 合 *あまのつひ* 知 *あまのつひ* 歌 *あまのつひ* な *あまのつひ*

あ 淺 *あまのつひ* 菜 *あまのつひ* 生 *あまのつひ* 野 *あまのつひ* 邊 *あまのつひ* 住 *あまのつひ* 水 *あまのつひ* 池 *あまのつひ* 高 *あまのつひ* 田 *あまのつひ* 高 *あまのつひ* 高 *あまのつひ*

○わか  
な  
至つ  
けた  
り  
十八  
字  
原  
本  
脱  
今  
依  
三  
本  
補

○をか  
し  
原  
作  
も  
か  
し  
て  
し  
今  
依  
三  
本  
並  
妙  
壽  
本  
改

ま 其 *あまのつひ* 可 *あまのつひ* 愛 *あまのつひ* 此 *あまのつひ* 池 *あまのつひ* 名 *あまのつひ* 貴 *あまのつひ*

児 夫 *あまのつひ* 從 *あまのつひ* 下 *あまのつひ* 正 *あまのつひ* 長 *あまのつひ* 此 *あまのつひ* 高 *あまのつひ*

つ 厭 *あまのつひ* 物 *あまのつひ* 悉 *あまのつひ* 皆 *あまのつひ* 人 *あまのつひ* 儼 *あまのつひ* 與 *あまのつひ* 飽 *あまのつひ* 謝 *あまのつひ*

て 舟 *あまのつひ* 子 *あまのつひ* 腹 *あまのつひ* 波 *あまのつひ* 鼓 *あまのつひ* 海 *あまのつひ* 驚 *あまのつひ* 驚 *あまのつひ*

な 混 *あまのつひ* 起 *あまのつひ* 了 *あまのつひ* 此 *あまのつひ* 間 *あまのつひ* 教 *あまのつひ* 人 *あまのつひ* 訪 *あまのつひ* 来 *あまのつひ* テ *あまのつひ* 多 *あまのつひ* 事 *あまのつひ* ナ *あまのつひ* リ *あまのつひ* 今 *あまのつひ* 日 *あまのつひ* 標 *あまのつひ* 子 *あまのつひ* 合 *あまのつひ* 持 *あまのつひ* 来 *あまのつひ*

た 名 *あまのつひ* 何 *あまのつひ* ト *あまのつひ* 云 *あまのつひ* レ *あまのつひ* オ *あまのつひ* ツ *あまのつひ* ケ *あまのつひ* 此 *あまのつひ* 人 *あまのつひ* 歌 *あまのつひ* う *あまのつひ* ん *あまのつひ* よ *あまのつひ* ま *あまのつひ*

んと 来 *あまのつひ* 時 *あまのつひ* カ *あまのつひ* ラ *あまのつひ* フ *あまのつひ* ワ *あまのつひ* ノ *あまのつひ* カ *あまのつひ* ウ *あまのつひ* ノ *あまのつひ* ト *あまのつひ* イ *あまのつひ* ヒ *あまのつひ* エ *あまのつひ* 波 *あまのつひ* 起 *あまのつひ*

つ 混 *あまのつひ* 起 *あまのつひ* う *あまのつひ* れ *あまのつひ* ひ *あまのつひ* て *あまのつひ* ま *あまのつひ* さ *あまのつひ* ん *あまのつひ* い *あまのつひ*

あ 起 *あまのつひ* 白 *あまのつひ* 波 *あまのつひ* 壁 *あまのつひ* 後 *あまのつひ* 哭 *あまのつひ* 吾 *あまのつひ* 此 *あまのつひ*

○うれ  
へ  
原  
作  
う  
る  
へ  
今  
依  
四  
本  
改



浪立 入 入  
 ば、なみちちこしりれ、あはれなる、よみくさし、あはれ、あ  
 乃ういそ物もひそく、何人乃よまめけり  
思出レ 貫 志 作  
 照 流ル、様ニ入ルヲ  
 てる月乃ちあゆみれば、あまのつらぎらみちより海より  
照

九日、早朝 おあみちとよの、那波泊 なる、わさささ、こ  
出 フレコレノ人々カハルガハル土佐 願  
 りあする人、あまのつらぎらみちとよの、蘇原 なる、わさささ、こ  
衛 長谷部 行 政 御前  
 多ひは、はせぐさあまのつらぎらみちとよの、紀氏、出立ナサレタ  
此 此 處彼 處 深 志 此

○あまた  
 下が字原  
 作る今従  
 三本改

海 うみあま、ねとらあま、上ニ奈波ノ泊云々トアルハ、マツ大ナウチ引スニテカキレナリ  
 れそ、みれ、いん、とぞ、これ入、道 茶 れひ、さ、いん、とぞ、  
二箇ニテ 海乃あまのつらぎらみちとよの、留 なる人、遠 なる、あま、  
 由、み、あま、あま、平 なる、いん、とぞ、舟に、思、いん、とぞ、  
レカサ ねど、あま、いん、とぞ、ヨツテ なる、いん、とぞ、  
船カラ陸ノカヨハズ あま、あま、いん、とぞ、文 なる、いん、とぞ、  
宇多 なる、あま、あま、いん、とぞ、松原 なる、いん、とぞ、  
下レホド有テ機 なる、あま、あま、いん、とぞ、行 過 なる、いん、とぞ、  
千 年 經 なる、あま、あま、いん、とぞ、其根毎 なる、いん、とぞ、  
枝 なる、あま、あま、いん、とぞ、飛チガフ なる、いん、とぞ、  
飛 なる、あま、あま、いん、とぞ、其根毎 なる、いん、とぞ、  
根



十一日、あけのついで、あけのついで、むらじをねらふ。人みな、まだ、  
 ぬたねらふ。うみはあけのついで、あけのついで、たぐ、月をみてぞ、みしひんが  
 しきりきりけら、斯在あひだよ、みな、夜あけえ、手あひひねらぬ  
 事ひもまて、ひるのちかた、今いそ、羽根あきまゝのりかた、地ひか  
 ちかた、名いそ、間あきまゝのりかた、鳥あきまゝのりかた、鳥あきまゝのりかた、  
 こと、羽根ノ形ノあきまゝのりかた、種あきまゝのりかた、事あきまゝのりかた、  
 人々、笑あきまゝのりかた、時あきまゝのりかた、其座ニ居あきまゝのりかた、置あきまゝのりかた、  
 事、質あきまゝのりかた、名あきまゝのりかた、間あきまゝのりかた、鳥、羽あきまゝのりかた、飛あきまゝのりかた、鳥あきまゝのりかた、  
 こと、エキタイ男あきまゝのりかた、女あきまゝのりかた、トウソク平あきまゝのりかた、調あきまゝのりかた、思あきまゝのりかた、

○もがな  
恐新

あきまゝのりかた、此あきまゝのりかた、歌あきまゝのりかた、ナメキ下あきまゝのりかた、  
 ひと、人あきまゝのりかた、此あきまゝのりかた、羽根あきまゝのりかた、地あきまゝのりかた、間あきまゝのりかた、ロニニあきまゝのりかた、  
 あぞ、イテあきまゝのりかた、亡あきまゝのりかた、女あきまゝのりかた、想あきまゝのりかた、生あきまゝのりかた、涙あきまゝのりかた、忘あきまゝのりかた、  
 る、ヤウソ今日、特ニ、母あきまゝのりかた、悲あきまゝのりかた、下あきまゝのりかた、時あきまゝのりかた、  
 の、人あきまゝのりかた、員あきまゝのりかた、足あきまゝのりかた、古あきまゝのりかた、歌あきまゝのりかた、数あきまゝのりかた、足あきまゝのりかた、歸あきまゝのりかた、  
 なる、世あきまゝのりかた、間あきまゝのりかた、思あきまゝのりかた、子あきまゝのりかた、懸あきまゝのりかた、たあきまゝのりかた、おあきまゝのりかた、  
 よ、世あきまゝのりかた、間あきまゝのりかた、思あきまゝのりかた、子あきまゝのりかた、懸あきまゝのりかた、たあきまゝのりかた、おあきまゝのりかた、  
 ひな、ひあきまゝのりかた、なあきまゝのりかた、とあきまゝのりかた、らあきまゝのりかた、ひあきまゝのりかた、なあきまゝのりかた、  
 十二日、あめあらし、フリサウデ文時、フリサ維茂、船あめあらし、後あめあらし、シガあめあらし、思あめあらし、津あめあらし、

○われと  
水原やれ  
とも今妙  
壽本及従  
三本改

あむらひのりかぬ

十三日乃あむらひきたに、らさく雨ふる。あむらひあむらひあむらひを

とこきんあむらひあむらひ、ゆあきあむらひあむらひとを、あむらひあむらひあむらひ

あむらひ、おむらひあむらひ、うみあむらひ

あむらひあむらひ、なみとぞあむらひ。あむらひあむらひ、らぐあむらひあむらひ

あむらひあむらひ、とあむらひ、うみあむらひ、とあむらひあむらひあむらひ、月あむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

十四日、あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

十五日、あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

あむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひあむらひ

〇く字

風ヲテ 波モ立 風居レ 波モ居 吹 風 波 思 トウレ  
 たぐり月 ぬれをまらふ。あし風を。なみとりあもあはち  
 じあふらふ。言 陸 著 作 甚 相 應 レ ヲ  
 十六日、風なみも止 室 津 泊 海  
 乃あみま〜。波 無 下 ツ 早 ヲ 御 崎 波  
 風なみとあれた。止 此 波 立 見  
 七よあふ〜。

霜だもめれ 露 南海 波 中 降  
 なる。ち〜。今日迄 二十日 五日 日  
 ぬれをまらふ。

○さし原  
 作され今  
 從寛扶群  
 三本吹

十七日、〜。露 陸 月 夜 甚  
 ぬれ。ぬれを〜。雲乃〜。海 上  
 乃うあふ。お〜。ヒ ト ツ ノ ナ ヲ  
 海 棹 翠 波 上 月 舟 巽 海 中  
 乃そらそ。と〜。作 三  
 よあふ。

水中ノ桂ナルヘレ  
 みあ〜。水 底 月 乃〜。チ  
 なる〜。月 乃〜。カ  
 のびみれだ。波 底 空 漕 渡











廿三日、日習照、登、此、邊海、觀、恐、有  
りくは、神、佛、新

廿四日、オナジキ、ノラ、北

廿五日、水陸ノ願ツシヒニ聞断ナク、昔来ル也

廿六日、實、説、追、来、ヨナカ

廿七日、船、手、向、能

廿八日、手、器、奉、東、故

廿九日、甲、缺、此、故、行、方、御、船

○かぢと  
りら下原  
有の字今  
依一本削

○ばかり  
下より二  
字原无今  
依四本補

迷 ねまふやあよ、油、給、聞  
或 盛 ありまふりけまふる  
海 わつらふれ、道、聞、神、手、向、能  
吹 ますあつあえ、願、風、ナ、レ、ニ、此  
詩 たく、神、早、ッ、踏、ツ、キ、ト、大、音  
并 ぬまもあまあま、大、音  
此 中よ、淡、路、此、能、モ、ア、ゲ、吾、々、モ、托、手、チ、拍、テ、コ、ソ  
ねまふれ、天、氣、西、國、ニ、テ  
ルヲ帆手ウツ  
ト云フトソ

○さへる  
原作いの  
る今依四



おぼて、此所何哉、土佐治治、舟交交、  
 此女、土佐と云ひけると思ふに、住むる女、此舟交、  
 其其女、昔四五年住地、名類たをひあぞ  
 あり、ありねと云ひて、アア  
四五年住地、名ナ負テ居レ、来寄波  
ナツカレはねとぞ知る

三十日、あめの世みあふ、夜行爲、  
ヨナカ夜中ほかをた、あふをのた、阿波阿波門、  
東北、西西、丹丹精チヌキテ、神神はとけをのたを、

渡みとをた、寅卯時、沼沼淵、和和泉、  
過過、田田無河、和和泉、  
瀬なだとらとら、神神、恵恵チ、神神、日日、  
泉よりあぞあねだ、三十日、九九日、和和泉、  
泉づみはとあ、來來、物物、敷敷、  
 二月朔日、朝あ、雨雨、午午時、海海上、  
 づみあなだとらとら、海海行、  
 あたおとく風波みあ、風風時、海海上、和和泉、和和泉、

ろれ名りくろく、松乃らうりあきく、黒 色 音 磯 ひとをばあみら、波 ぬれはあどく  
 ま、貝 色 蘇 枳 ろのむせらうら、すりうあを、五色よ、マッ しまひとらうぞんらぬ、あは  
 おひだよ、慶 浦 ばあはうらあ、らあどあうらあを、挽船 謡 引 ばあをひさかしく  
 く、或 人 へいあひだふ、あらむひとばああるうて。

玉くしげ、浦 浪 起 さまはうらあみくぬ 日り、海 鏡 うみをめぐみとてねか

見せらん、船 君 まへ、あなをみせらさく、オノクト正月ノ末マデト思ヒシニオクレオクレテ 歌  
コノ二月ノ月マデ成ツテ事ヨ あは月あを、なるぬらあどく

げきそ、昔 堪 くるあはよ、たぐふして、人 作ル ひまのひああうと、キハラレ あうらあり

あはらう。

引 ひくあゆら、如ク長 ばあをばあがま、春 たるは 日ナレニ四 十日 五十日 をよそあうらあを、已 統

○しひね  
 原作しい  
 へ今意改  
 ○さゝや  
 き原作つ  
 りめき今  
 依寛本改

りくあゆら、聞 人 まいひとああへんあや、サテノ歌ト云ハキマレモナレ何ノ然 あひそ

あはらあぐ、辛 苦 ああまみら、テオウオウオウ ひらひら出あを、今 平路ナレ ぶーああゆら

あどそ、誑 へいあそーひあどそ、俄 へいあああまぬ、俄 けうあよ、波 風あ

みくあければ、留 とくまうらぬ

二日、終 雨のせああぞ、日終 日ひとひ、夜 神 よはがら、祈 うみ佛をらばる

三日、海 上 うみはう海、吹 ばあはあやうあねが、吹 あゆらだあを、吹 うみはあく

あどああひは、岸 波 ばあはあみくあうら、立ツカ上ニ立ッ あああうらあああああ

た。

兒女等船中ノ滑開ニ終 せうよりを、落 積 うみあまゆせら、戻 あちうら、玉 なみだはくあを、貫 ぬか





舟がゆくも、おれはうらやま、おれは  
過キニクイハ、妹、故、疾、世  
 乃かおれら、いゝとわたり、いゝやあはれ、あはれいゝあはれ、日乃あはれよ、  
来、解、世  
 いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
舟、子等、御、御、御  
下レルッ、朝烈シク吹ク北風、フキ出  
 たふあり、あはれいんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
早ッ  
歌  
 おれ、うんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
自、然、モノ、イ、エ  
 ぞとら、うんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌  
奇  
 か、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌、歌  
三十文字  
 せれば、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
起  
終  
 ひと、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
日、新、效、有、今、國

群、居、遊  
 おもねる、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
近  
或、靈、作  
 りんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
終日新来ル其效、風、間、思、生、符、國  
 いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
石、律  
原  
 いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
黄、遊、長、ク、ミ、キ、タ、リ  
其、之  
 いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
今、見、自、己、ノ、跡、ノ、ホ、リ、キ  
年、經、タ、ト、思、ウ、タ、松、ヨ、リ、モ、我、ハ、サ、キ、ニ、キ  
ツク、年、ヨ、シ、タ  
 いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
兒、母、一、日、片、時、思  
 いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、いんがせ、  
波

○よせよ  
原作よせ  
て今依爲  
家卿自筆  
本改

すみれ江にみゆか〜  
 ゆ〜とあ〜う〜  
 心〜  
 一〜な〜  
 ち〜  
 ち〜  
 ぞ〜  
 せ〜  
 くら〜

○ゆかぬ  
原作いか  
ぬ今依爲  
扶群三本  
改

危あゆみは〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜  
 御〜

○けり原  
无今依四  
本加

○難波の  
津を原作  
なにはづ  
今依四本  
改

○をさな  
き原作北  
き今依  
寛扶二本  
改

原 見定メテ 神慮トオナシ申  
ろをこそ見つけ。おちどりおあつちうの。うみは御あつちうなりけ

り。

六日、みをつゝ一はちあつちうの。難波の津を来て川とりぬら

る。みな、ひとおちどり。おちどりおあつちうの。びんぼう、しをあつちう、よ

ろあつちうと二つあつちう。おれ、舟酔の、おちどりおあつちうの。みや

あちあつちうの。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。

たげを、いひぞろいぬ。

伊ッ若クカイツクルカト心モトナク待遠ニラツタ  
おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。

ひーん、いひぞろいぬ。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。

七日、なみ、川とりぬら。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。

なみおちどりぬら。舟はおちどりぬら。おちどりおあつちうの。おちどりおあつちうの。

なみおちどり病者。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。

トント知。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。

みよおちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。

おちどりぬら。

おちどりぬら。川とりぬらの。水おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。おちどりぬら。







○たな  
る原本此  
四字先今  
依寛扶群  
三本補○  
はら原作  
ねはち今  
依四本改  
○ろれに  
も四字原  
先今依四  
本加

さげんふあゝる小櫃乃多を、まがりたあらたあゝる、あゝるさ  
けり、うまひとれ、あゝるをぞ、らゝるぞのあゝる、あゝる、京へ  
くふ、島坂まゝ、ひと、あゝるぞ、らゝり、あゝるを、あゝる、あゝる  
ぞあり、世二國司ハ當テ歸ル物ト云思フ人情ヨリ任嗣ニテ任果テ歸來ル時  
チテ行レ時ヨリ人ハあゝるあゝる  
る、土佐ハ邊地ナルウヘ正路ヲ守レバ潤澤モナク道スガラ魚  
買錢ヲニナクテ米トカヘルホド貧ナリケレドスベナクテあゝるあゝるあゝるあゝる  
夜、あゝるあゝる、みやあゝるらゝるあゝる、さゝるあゝるあゝる  
さゝる月らゝる、あゝる川、月乃あゝるあゝるあゝる、あゝるあゝる  
く、此川、あゝる川、あゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝる  
ひと、あゝるひとあゝるあゝる

○くれば  
三字依四  
本補

久あゝる月乃あゝるあゝるあゝる川、うまひあゝるあゝるあゝる  
り、まゝ、あゝるひとあゝる  
あゝる雲乃あゝるあゝるあゝるあゝる川、袖、あゝるあゝるあゝる  
あゝる又、あゝるひとあゝる  
ハルハル思ヒワタツタ吾心ニモカヨハズ相モ思ハヌ川ナレド橋吾心  
京ニ着タ事  
あゝる、みやあゝる、うね、あゝるあゝる、うまひあゝるあゝるあゝる、夜  
あゝるあゝるあゝる、あゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝる  
あゝるあゝるあゝる、門、あゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝる  
あゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝる  
あゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝるあゝる





明治廿四年十月廿五日印刷  
同 廿四年十月廿八日出 版

定價十五錢

版權登錄

著作者 小田清雄

堺市大町東三四十四番屋敷

發行者 前川善兵衛

大阪市東區南久寶寺町四丁目十九番屋敷

版權所有

大阪市東區北久太郎町二丁目六十六番屋敷

大阪活版製造所印刷部

印刷者 辻田榮助

前川文榮堂出版書目

◎國文泰斗

小田清雄先生樓正補註  
補註國文全書

正編源氏物語湖月鈔

次編一 土佐日記考證 ○竹取物語抄

次編二 徒然草文段抄

次編三 四十二物語中將物語源平十遺  
萩原先生著

源氏物語評釋 後前

藤井大人著

文あは勢

松屋文集

松屋文後集

正編八冊  
次編八冊

八冊

一冊

二冊

一冊

十三冊

十二冊

二冊

二冊

三冊

菅笠日記

◎文を學ぶの梯

本居大人著

玉あられ

文苑玉露

紫文消息

紫文製錦

袖珍古言梯

古言梯標註

語彙別記

同活語指掌

古今仮名つかひ

二冊

一冊

二冊

一冊

八冊

一冊

一冊

一冊

一冊

一冊

本居大人著 詞ノやちまた 六本 小本	本居大人著 字音仮名づかい 一名字音仮字用格	漢字三音考	◎和哥集 鈴木重胤校正	三代集類題	雲錦翁家集 佐々木弘綱大人編	類題千船集 村田大人著	紅塵和歌集類題	新紅葉和歌集類題 千利有功卿歌	古鏡 加茂眞洲翁講説	古今和歌集打聽
一冊	一冊	一冊	五冊	四冊	六冊	二冊	二冊	三冊	八冊	五冊

加納訥平大人編 類題和歌鮫玉集 長澤伴雄大人編輯	類題和歌鳴川集 本居大人著	萬葉山常百首	玉鉢百首	◎哥讀の梯 加茂眞洲翁著述	萬葉考 村上國方著	萬葉集類葉抄 田山敬儀註釋	百人一首圖繪 雨芳洲先生著	多波禮具左 曙屋主人編	和歌古山山文 中本木板 小本銅板	和歌吳竹集	和歌新吳竹集
十四冊	十冊	一冊	一冊	十冊	二冊	二冊	三冊	三冊	各四冊	三冊	二冊

有賀長伯社松下誠明補 和歌ノ秋ノ寢覺 名所	冠辭例 萩原政治編	詠歌心適種	掌中今古和歌母子草	和歌ぬさ袋 尾崎雅壽著	和歌枕詞補註	和歌麓の塵 中本木板 小本銅板	◎國史 北島准后親房撰 標註 校正	神皇正統記	日本書記	同 半紙本片假名附	續日本記
五冊	一冊	二冊	一冊	一冊	二冊	三冊	三冊	八冊	八冊	八冊	廿冊

三鏡 本居大人著	神代紀葦牙	神代紀髻華山蔭	◎神事祝詞 神乃里登作例 上作例 下類語	大稜執中抄 近藤芳樹先生著	大稜詞後釋 本居大人著	祝詞正訓 平田篤胤校訂	◎雜 本居大人著	眞曆考 全	國號考 正七位松下隆和撰	千代のゝる辨
廿一冊	四冊	一冊	二冊	三冊	二冊	一冊	一冊	一冊	一冊	一冊

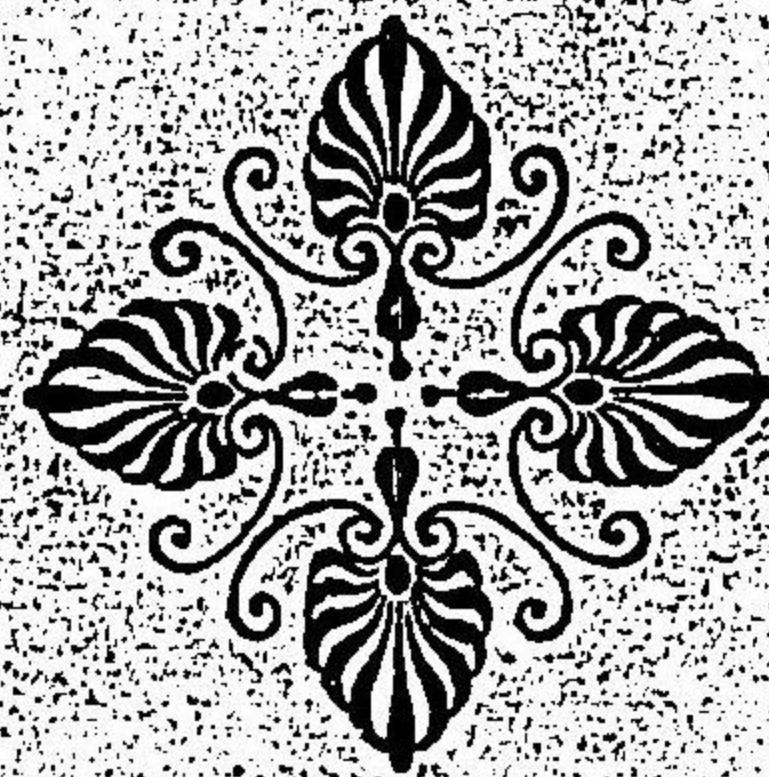
三版大日帝國圖	詳密世界全圖	第二版日本地圖	小學用日本地圖	小學說文例	小學論說文例	上等論說文例	附錄論說文例	錄日祭由來	祝日祭由來	商業小學	農學小學	二版日本商業地理	增版日本商業地理	全版日本商業地理	大版日本商業地理	全版日本商業地理	大版日本商業地理	秀華益正字典	女子作文自任	文章軌範
全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册	全一册
記事志傳文例	漢文獨學文例	明詩集	明詩集	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全	日文外史譯語大全
全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册	全二册
無雙廣益雜形	美術繪畫	宗瑛園譜	茶園傳	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜	經子譜
全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册	全三册
和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集	和歌千舟集
全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册	全四册

前鹿兒島高等中學校造士館教授 現高知縣尋常中學校教頭  
 帝國大學卒業政治理財專門 河野通章先生著述

# 增訂日本商業地理

製本體裁洋裝本綴全壹册  
 紙數四百拾頁  
 本文體裁十五部門二分  
 新案地圖附不  
 定價金八拾五錢

2259



9  
7

095806-000-6

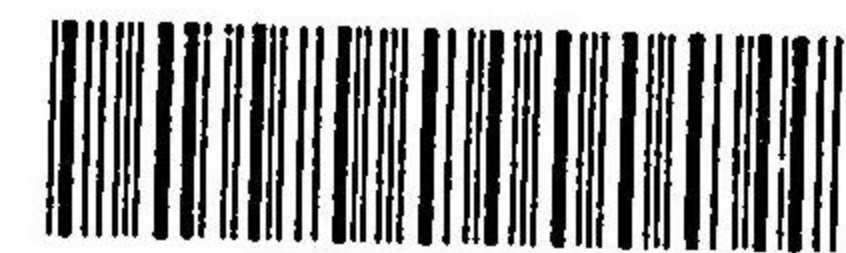
特29-457

校正傍註土佐日記

小田 清雄/注

M24

DBR-0013



特  
4